

共創による地域交通人材育成事業(沖縄県久米島町)

事業実施主体

【共創プラットフォーム】共創による地域交通人材育成事業

地域課題

観光輸送は(宿泊施設・スキューバダイビング等⇔空港等)各々の事業主が独立して対応しており、島内の回遊性・周遊性を高める連携がとりにくい状況。
 交通事業者の運転手不足や運転手の高齢化により、公共交通サービス提供の存続が危ぶまれている。さらに乗合バス及び貸切バス運転手に必要な大型Ⅱ種免許が、島内では取得できないため運転手不足となっている。

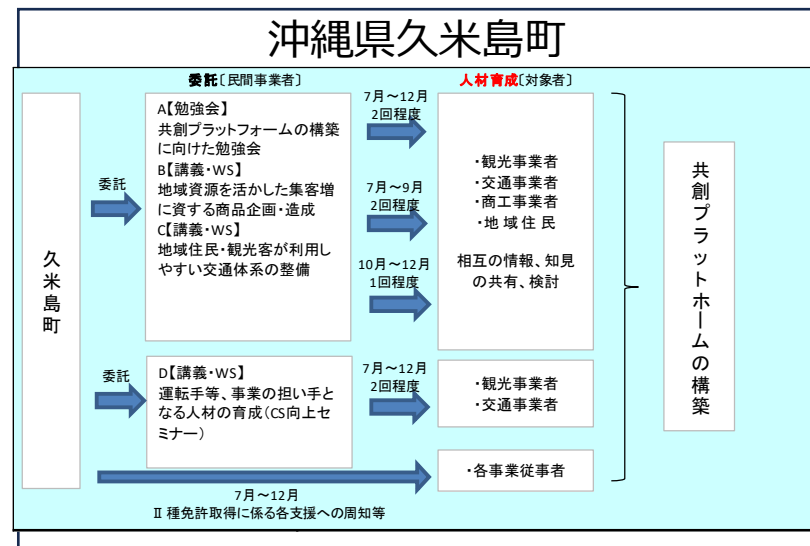
実証事業の内容

1. 「島民の生活を支える」×「久米島の観光資源を最大限活用」の両立を目指す交通体系構築に向けた機運の醸成
2. 島民が主体となり、各ステイクホルダーが連携して地域の交通を支える機運の醸成・持続可能な実現方策（ICTを用いた省力化等）
3. 島民および観光客の利便性向上及び目的地の収益増が図られる交通体系の検討
4. 地域公共交通の運営（交通事業者・観光事業者等）のホスピタリティ向上（接遇・観光ガイドの育成等）研修

今後の展開

地域公共交通会議を中心に、町民や入域客等の島内移動がよりスムーズになるよう実証事業を含めて検討を続けていく。また、定期的に運転手の確保及び質の向上に向けたセミナー等も継続的に実施。

事業実施地域・手順



事業スケジュール

検討項目	育成プログラム
A) 持続可能な運用スキームの検討	7月～2月 ●実務者による勉強会 2回程度を想定 ●Ⅱ種免許取得に係る各支援の促進
B) 地域資源を活かした集客増に資する商品企画・造成	7月～9月 ●講演・セミナー 2回程度 ●ワークショップ 2回程度 の開催を想定
C) 地域住民・観光客が利用しやすい交通体系の整備	10月～12月 ●講演・セミナー 1回 ●ワークショップ 1回 の開催を想定
D) 運転手等、事業の担い手となる人材の育成	7月～12月 ●CS向上につながるセミナー 3回程度を想定